

第 1 学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 認め合い、学び合う心を
- 2 内容項目 2－（5）寛容の心・謙虚
- 3 資料名 「言葉の向こうに」（私たちの道徳）

4 ねらい（視点）

それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。

□資料について

主人公の加奈子はインターネットで、ヨーロッパのサッカーチームのA選手のファン仲間との交流を楽しんでいる。ある試合をきっかけに心ない書き込みが続いたことに怒った加奈子は自分もひどい言葉で応酬し注意されてしまう。インターネット上での言葉のやり取りの難しさに直面した加奈子だったが、「言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべてみて。」という言葉から、言葉の受け手の存在を忘れてしまっていた自分に気づくという資料である。自分の発する言葉の向こうには、それを受け取る他者がいることを想像させることで、よりよいコミュニケーションの在り方について考えさせたい。

5 本時の展開

時	主な学習内容・活動	評価・留意点
導入	<p>【1 自己の体験について振り返る】</p> <p>○芸能人や、スポーツ選手についてネット上で話題になったことを知っているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネット上で見たことがある・ネット上に書き込みをしたことがある ・話をきいたことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって身近な例を提示する。
展開	<p>【2 資料を範読、内容を把握させる】</p> <p>○登場人物は誰か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加奈子・母・ネットの向こうの人 (A選手のファンや非難する人) <p>○どのような話か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A選手のファンサイトに悪口を書き込む人に加奈子がエスカレートして怒る <p>【3 主人公がネット上で反論しているときの心情を考える】</p> <p>○反論する加奈子の言葉が段々エスカレートし、感情的になるのはなぜか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンとしてA選手の悪口を言われっぱなしにできないから ・腹がたった・悪口をとめたかった・A選手は絶対に悪くない <p>【4 主人公の心情の変化について考える】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>加奈子は椅子にもたれてどんなことを考えていたのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私もだめだった ・相手のことを考えていなかった ・自分も感情的 </div> <p>○このメールをくれたファン仲間の人はどんな気持ちで加奈子のメールを見ていたのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと仲良くなってほしい ・どっちも悪い ・ほっとけばいいのに ・汚い言葉を使っていて嫌だ ・同じファンと思われたくない <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>加奈子は椅子にもたれてどんなことを考えていたのだろうか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本発問や補助発問を挟んで何回か繰り返すことで、生徒の内面の深まりを自覚させたい。 ・自分の考えや好き嫌いで判断し、相手のことを考えずに主張していることに気づかせたい。
終末	<p>【5 この時間を通して気づいたことをワークシートに書く】</p> <p>○この時間を通して気づいたことはどんなことか</p>	
<p>本時の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの見方は一面だけでなく、いろいろなものの見方があることに気づく発言や記述があったか。 ・それぞれの立場を理解して、寛容の心をもととする発言や記述があったか。 		

道徳学習プリント「言葉の向こうに」

1年 組 番氏名 ()

この学習をとおして「気づいたこと」「考えたこと」を書いてください
